

15

プレキャスト高潮堤防護岸工法

NETIS
CB-100008-A

河川・海岸の高潮堤防護岸工事における波返工・被覆工・基礎工において、従来、現場打ちにより構築されていましたが、埋設型枠工法「プレキャスト高潮堤防護岸工法」を使用することにより、工期短縮が図れます。

プレキャスト高潮堤防護岸工法の特長

1. 熟練工による波返工曲面部の円形型枠組立が不要となる。
2. プレキャスト製品を使用するため、工期短縮、省力化が図れる。
3. 現場打ち型枠が削減できることにより産業廃棄物が減少し、環境にも配慮できる。
4. コンクリート製品に止水板設置溝を設けることにより、止水板の継ぎ目を最小限に抑えることを可能とし、簡単に設置できる。

【波返しベースブロック】

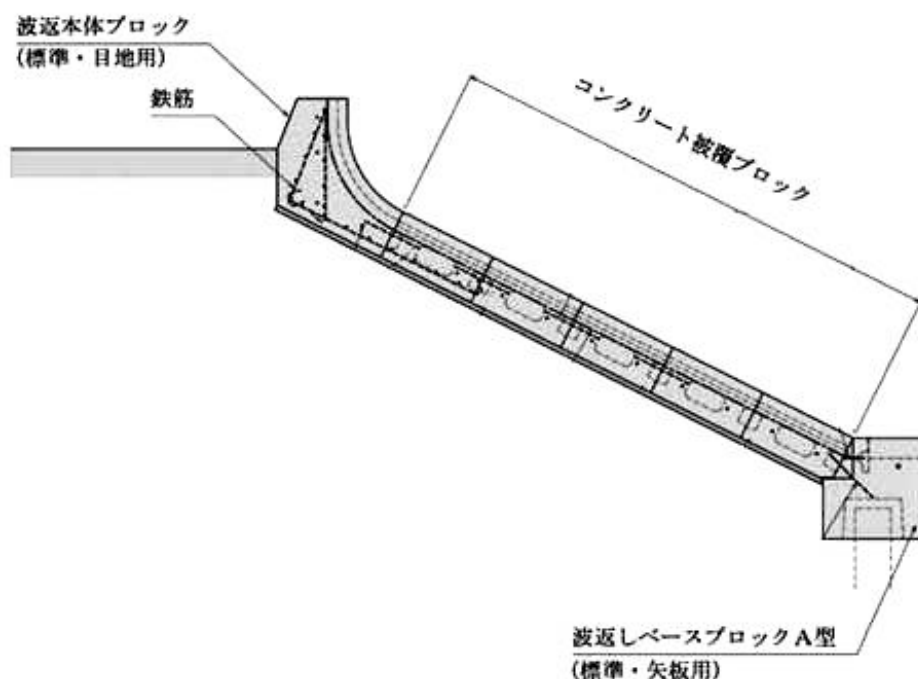
波返し基礎工「波返しベースブロック」は、被覆工との接続部に、タイバー及び止水板の設置を可能とし、現地で中詰めコンクリートを打設することにより、基礎工の構築を可能とした製品です。又、止水板の設置については、製品に設けられている止水板設置溝に現地で挿入することにより、止水板の継ぎ目を最小限に抑えることを可能としました。

【コンクリート被覆ブロック】

被覆工のプレキャスト化を実現した「コンクリート被覆ブロック」は、現地で胴込めコンクリートを打設することにより、従来、現場打ちで対応していた被覆工と同等の構造を構築することが可能です。又、止水板の設置については、製品に設けられている止水板設置溝に現地で挿入することにより、止水板の継ぎ目を最小限に抑えることを可能としました。

【波返し本体ブロック】

波返工のプレキャスト化を実現した「波返し本体ブロック」は、現地で、中詰めコンクリート及び構造鉄筋により、従来、現場打ちで対応していた波返工と同等の構造を構築することが可能です。



波返しベースブロックA型

1000×1000×2495 参考質量 1500kg



波返しベースブロックB型

800×800×2495 参考質量 1280kg



コンクリート被覆ブロック（標準）

1000×5000×500 参考質量 1940g



コンクリート被覆ブロック（目地用）

1000×4990×500 参考質量 2000kg



波返し本体ブロック（標準）

R1000×5000×500 参考質量 2610kg



波返し本体ブロック（目地用）

R1000×4990×5000 参考質量 2780kg



※上記は、代表的な規格であり、その他の規格については、別途お問い合わせ下さい。

